

くらし・まち分科会

健康に対する意見

- 健康寿命の延伸には、スポーツによる健康維持・増進の視点も必要と感じる。
＜加藤 委員＞
- スポーツという視点がないと、「自ずと健康となる仕組み」にはならないと感じる。
＜渡辺 委員＞
- 子ども・若者に対して、今まで以上に性感染症などの健康教育を行っていく必要がある。
＜山下 俊樹委員＞
- オーバードーズが増加している現状があるので、健康教育などの対策が必要と感じる。
＜岡安 委員＞

都市整備・公園に対する意見

- 道路の横にテーブル・椅子があるなど、集いの場があるようなパブリックスペースの存在が住みやすいまちにつながる。パブリックスペースの効果を認識したまちづくりを進めていく必要がある。＜宮本 分科会長＞
- 水辺の空間は手付かずの部分もあるため、整備すれば有効な空間が生まれると感じる。
＜岡安 委員＞
- 安心・安全な道路環境のため、道路下の空洞の調査について進めていく必要がある。
＜岡安 委員＞
- 区画整理以外にも、老朽化した家屋を取り壊す事業によっても、防災・防犯を進めることができるのではないかと。＜山下 俊樹委員＞
- 区内の公園は禁止事項が多く、使いづらい。公園ごとに使い方の特色をつけるなどで、もう少し自由に遊べる空間があると良い。＜渡部 委員＞
- 都市型農業を保全することで、緑のある空間に寄与していくため、行政が守っていく姿勢が重要であると感じる。＜岡安 委員＞
- 地域の人たちにとって使いやすいパブリックスペースの公園にするにあたって、条例が足枷になるときがある。＜渡辺 委員＞

災害対策に対する意見

- 震災の際に避難所に入れる方は限られているため、自らを守るために家庭内備蓄を進めていく必要がある。＜岡安 委員＞
- 高齢者の一人暮らしは家庭内備蓄を行う傾向があるが、現役世代の一人暮らしは家庭内備蓄をする割合は低いため、この世代に対するアプローチが必要である。
＜宮本 分科会長＞
- 要支援者対策をするには、当事者の声を聞き、時間を掛けて行っていくことが必要。
＜渡部 委員＞

その他の意見

- 外国籍の方への視点については、各施策の中で意識していく必要がある。
＜加藤 委員＞
- CO2 排出量が多いということだが、区民として何をしていけば良いか明確になると良い。
＜渡部 委員＞
- 植樹など、区民と協働して CO2 削減ができる取組みがあると良い。＜渡部 委員＞
- 実態を隠して反社会的団体等に勧誘しているケースがあるため、対策等が必要と感じる。
＜岡安 委員＞
- デジタルの世界であれば居住場所は関係ない。足立区に住んでいながらビジネスを創ろうとしている人への支援が重要と感じる。足立区の支援で起業に至った人がどれだけいるかを KPI にするなど、しっかり取り組んでほしい。＜小柳 委員＞
- 高齢者でもインターネットが当たり前の時代が到来するので、これを見越したインターネットをベースにしたビジョンが必要ではないか。＜小柳 委員＞
- 高齢者でもスマートフォンを使っており、インターネットを活用した健診予約、健康管理などもできると良い。＜山下 俊樹委員＞
- 誰でも使えるマイナ保険証についても検討していただきたい。＜山下 俊樹委員＞
- 詐欺に強い足立区＜渡辺 委員＞

両分科会で共通して意見があった「やりたいことでつながる」に関する意見

- できなかったこと、気付かなかったことに徐々に気が付いていき、つながっていく。
＜笠井 委員＞
- 「やりたいこと」の見える化や、「やりたいこと」を発信できることで、多分野で協働していく仕組みづくり＜ぬかが 委員＞
- アナログだけでなく、デジタルでもつながりができるプラットフォーム＜片野 委員＞
- 現役世代の方が上手く地域に入っていく取組みとして「あだち皆援隊講座」は良い取組みだと感じる。＜宮本 くらし・まち分科会長＞
- 人材バンクみたいなものを作ることも良いのではないかと。＜渡辺 委員＞
- ボランティア、NPO などの活動が分かるような仕組みを作り、区民が可能性を広げていくことができると良い。＜岡安 委員＞
- 「あやセンターぐるぐる」のような生きた区民の交流の場ができると良い。
＜宮本 くらし・まち分科会長＞
- いろいろなメニューがあると、活動していない人が殻を破っていくことにつながる。
＜岡安 委員＞
- 地域での活動を見ると、8～9 割が女性と感じる。男性のニーズにあった地域内の企画がないのではないかと。アイデアをもっと出さないと地域で活動する男性は出てこないのではないかと。＜宮本 くらし・まち分科会長＞
- 他都市とのつながりにより新しいものが生まれる。＜森元 委員＞
- 友好都市との交流は形式的なものになりがちなので、もう少し自治体同士が交流していく。
＜片野 委員＞
- 区だけでやろうとするのではなく、区民と一緒にできるような活動があると良い。＜岡安 委員＞